

## デトロイト、ニューオリンズ、東北。持続可能な地域社会に挑戦する起業家の集い 「ローカル・イノベーターズ・フォーラム 2016」へのご案内 ～東北・日本・世界から考える、地方創生にチェンジメーカーが果たす役割～ 2月27日(土)10時半より、秋葉原にて開催

全米最大の日米交流団体ジャパン・ソサエティー(所在地:ニューヨーク・理事長:櫻井 本篤)と、次世代の起業家型リーダーを育成し社会のイノベーション創出を目指すNPO法人ETIC.(所在地:東京都渋谷区・代表理事:宮城治男)は、自然災害や産業衰退、少子高齢化などで危機に瀕した地域において活躍する若きイノベーターを東京に集め、お互いの実践を共有し、ともにこれからの地域社会のあり方を考えるフォーラム、「ローカル・イノベーターズ・フォーラム2016」を2月27日(土)10時半より、秋葉原にて開催します。

東日本大震災から丸5年を迎える東北の事例をはじめ、デトロイトの財政破綻からの再生、ハリケーン・カトリーナ後のニューオリンズ復興の事例など、地域課題の解決に取り組む世界の事例を関係者から直接聞くことのできるまたとない機会です。ご多忙中かと存じ上げますが、ぜひご参加くださいませ。

なお、お手数ですが、別紙の出欠用紙に必要事項を記入の上、2月22日(月)までに、4枚目のFAX返信用シートにてご返信下さいますよう、お願い申し上げます。

### ■ 開催概要

日時 : 2016年2月27日(土)10:30~20:00(10:00会場) ※入退室自由

ー 10:30~12:00 オープニングパネルディスカッション

ー 13:10~20:00 ローカル・イノベーション戦略会議、クロージング・セッション、交流会

会場 : 秋葉原コンベンションホール(秋葉原駅徒歩1分)

対象 : 東北や全国各地のローカル・イノベーションの実践者、米国社会起業家・地域再生リーダー、

企業新規事業・人事・CSR 担当者、行政関係者、メディア関係者、

など

定員 : 先着 400名(要事前申し込み)

参加費 : 3,000円(資料代・交流会参加費含む) ※メディア関係者は入場無料

言語 : 日本語・英語(同時通訳、逐次通訳あり)

主催 : ジャパン・ソサエティー(NY)/ NPO 法人 ETIC.

後援 : 日経 Biz アカデミー、復興庁(申請中)、内閣府(申請中)

協賛 : 三菱商事株式会社、KPMG ジャパン

Web : <http://thinktohoku.etic.or.jp/227event/>

※本シンポジウムは、ジャパン・ソサエティーの

Japan Earthquake Relief Fund (JERF)の助成を受け、開催しております。



会場周辺地図

### オープニングパネルディスカッション「東北・日本・世界から考える、地方創生にチェンジメーカーが果たす役割」

(10:30~12:00)にて、本フォーラムのメインテーマとなる地域課題と起業家の取り組みについてご紹介します。

デトロイトやニューオリンズ、そして東北での課題と挑戦、その結果について最新の事例が聞けますので、

この時間帯のご出席をお勧めいたします。

お問い合わせ > 「ローカル・イノベーターズ・フォーラム 2016」 広報事務局

株式会社コミュニケーションデザイン 担当: 落合、玉木

TEL 03-5545-1661 FAX 03-5545-1662 E-mail [ochiai@cd-j.net](mailto:ochiai@cd-j.net)

■ プログラム(一部変更になる場合がございます)

**I オープニングパネルディスカッション (10:30~12:00)**

「東北・日本・世界から考える、地方創生にチェンジメーカーが果たす役割」  
 ~ニューオリンズの10年、デトロイト財政破綻からの再生、東北の5年を振り返り、これからの地域のあり方を考える~  
 [登壇者] ・アリソン・プライヤー氏(ザ・データ・センター代表兼主席人口統計学者@米国・ニューオリンズ)  
 ・フィリップ・クーリー氏(ポニーライド共同創設者@米国・デトロイト)  
 ・東北の自治体関係者、起業家・リーダー 他

**II ローカル・イノベーション戦略会議 全体セッション (13:10~13:50)**

基調スピーチ「これからのイノベーションの源泉はどこにあるのか? (仮)」

**III ローカル・イノベーション戦略会議 (14:05~17:25) ※3つの軸で10程度のテーマでの分科会を開催します。**

**A: 地域の新しい稼ぐ力を育てる。**

分科会の一例

- ・「空家や廃校、有休不動産をどう地域に活かすか？」
- ・「舞台は世界に！」 ~ダイレクトに世界へ進出するローカルベンチャー~
- ・「インバウンド観光」 ~インバウンド観光と地域の担い手育成~

**B: 地域の力を引き出し、地域の暮らしや文化を守る。**

分科会の一例

- ・「増え続ける社会保障費、地域の健康をどう守るのか？」  
 ~コレクティブインパクト(価値の共創)による課題解決モデル~
- ・「地域におけるセーフティーネットをどう作るのか？」  
 ~生活困窮者、障がい者、ホームレス、誰もが社会に参加できる地域のあり方~
- ・「自然資本を育て活かす」 ~一次産業の担い手の採用・育成戦略~

**C: 地域を経営する力、地域の担い手を育てる。**

分科会の一例

- ・「地域に開かれたコワーキング・スペース」 ~コミュニティを創り育てるデトロイトのものづくり拠点~
- ・「企業による地方創生チャレンジ」 ~なぜいま、トライセクターリーダーが必要か~
- ・「データに基づく、地域ビジョンづくり」 ~町の課題を可視化し、変革のドライブを創る方法~

**IV クロージング・セッション (17:45~18:25)**

・ローカルイノベーターズピッチ(海外ゲスト、東北起業家などを中心に5名の方による)

**V 交流会 (18:40~20:00)**

■ 当日来場者・登壇者(一部ご紹介)

- ・ ロザンヌ・ハガディ氏 (コミュニティ・ソリューションズ代表兼 CEO、米国・ニューヨーク)  
 革新的な方法でホームレス解消に取り組む著名かつ尊敬される社会起業家。1990年にニューヨークの中心、タイムズ・スクエアで廃屋だったホテルを改装し、ホームレスに住居と就業支援サービス等を提供したのが活動の始まり。現在活動を全米にスケールアウト中。
- ・ アリソン・プライヤー氏 (ザ・データ・センター 代表兼主席人口統計学者、米国ニューオリンズ)  
 ハリケーン・カトリーナで被災をしたニューオリンズの人口統計と復興トレンドの国際的なデータ専門家。被災後、過去10年の間に発表した数々のデータ指標は、市政府から地元の団体に



お問い合わせ > 「ローカル・イノベーターズ・フォーラム 2016」 広報事務局  
 株式会社コミュニケーションデザイン 担当: 落合、玉木  
 TEL 03-5545-1661 FAX 03-5545-1662 E-mail ochiai@cd-j.net

報道関係各位

2016年2月5日

ローカル・イノベーターズ・フォーラム 2016 広報事務局

重用され、コミュニティ再生のツールとして多大な影響力を持つ。

- ・ ジェフリー・シュワルツ氏（ブロード・コミュニティ・コネクションズ 代表、米国・ニューオーリンズ）  
ニューオーリンズで衰退の一路を辿っていたブロード・ストリート近隣地区の活性化を、住人のニーズを反映した新鮮な食べ物へのアクセス、緑化や美化事業を通じて行っている。近隣住民の健康改善や、就業支援を含む包括的なアプローチは高く評価されている。
- ・ フィリップ・クーリー氏（ポニーライド共同創設者、米国・デトロイト）  
2012年に、約2800平方メートルの廃屋となっていた倉庫を買い取り、社会意識の高いアーティストと起業家に安価なワークスペースを提供するスペース、ポニーライドを共同創設し、現在40の団体の拠点。地元の人気バーベキューレストランの経営者としても知られる。



### ■ 国内からの当日来場者・登壇者（一部ご紹介）

- ・ 岩佐 大輝 氏（農業生産法人 株式会社 GRA 代表取締役、宮城県山元町）
- ・ 小関 哲 氏（ナガサキアイランズスクール代表、長崎県平戸島）
- ・ 尾野 寛明 氏（有限会社エコカレッジ 代表取締役、島根県川本町）
- ・ 梶屋 陽介 氏（株式会社セセッションナブル 代表取締役、宮城県女川町）
- ・ 小松 洋介 氏（NPO 法人アスヘノキボウ 代表理事、宮城県女川町）
- ・ 高橋 大就 氏（一般社団法人東の食の会 事務局代表 / Oisix Hong Kong Co.Ltd 代表、東京都）
- ・ 高橋 由佳 氏（NPO 法人 Switch 代表理事、宮城県仙台市・石巻市）
- ・ 原 大祐 氏（NPO 法人西湘をあそぶ会 代表、神奈川県大磯町）
- ・ 半谷 栄寿 氏（一般社団法人福島復興ソーラ・アグリ体験交流の会 代表理事、南相馬市）
- ・ 牧 大介 氏（株式会社森の学校ホールディングス 代表取締役、岡山県西粟倉村）
- ・ 和田 智行 氏（株式会社小高ワーカーズベース 代表取締役、福島県南相馬市） 他多数

### ■ 主催団体

ジャパン・ソサエティー(NY) <http://www.japansociety.org/>

1907年にニューヨークで創立された全米最大の日米交流団体。日米の相互理解と友好関係構築を目的に、政治、経済、文化、教育など幅広い分野で講演、展示、舞台公演、人材育成などを手がける。米国の非営利法人で約2,500人の個人会員と170社の法人会員を持つ。東日本大震災発災後は、Japan Earthquake Relief Fund (JERF)を発足し、全米50州、全世界50カ国から約24,000件の寄付が集まり、総額は1,400万ドルに達した。2015年9月時点で、緊急支援、医療、メンタルヘルスを含む福祉、児童、コミュニティづくりに取り組む44団体、66のプロジェクトに総額1,395万ドル(約16億円)を提供している。

NPO 法人 ETIC. <http://www.etic.or.jp>

1993年設立、2000年にNPO法人化。起業家型リーダーの育成を通じた社会・地域づくりをミッションとする。日本初の長期実践型インターンシップの事業化や若手社会起業家への創業支援を通じこれまで2,500名を超える学生のインターンをコーディネート、150名を超える起業家を輩出。またその仕組みを全国30地域の連携組織へ広げている。東日本大震災後、東北のリーダーを支えるための「右腕プログラム」を立ち上げ、これまでに118のプロジェクトに対して、214名の右腕人材を派遣している。また、長期的な復興の担い手となる地域のハブ組織の強化にも力を入れ、2013年度からはハブ機能強化のための日米交流プログラムや、モデルとなりうるハブ組織への助成プログラムも実施している。

# FAX返信シート

ローカル・イノベーターズ・フォーラム2016 広報事務局 宛

**FAX:03-5545-1662**

## 「ローカル・イノベーターズ・フォーラム2016」

日時：2月27日(土) 10:30~20:00(10:00 会場)

会場：秋葉原コンベンションホール(秋葉原駅徒歩1分)

誠にお手数ですが、必要事項をご記入の上、2月22日(月)の17時までにFAXにてご返送下さいますよう、お願い申し上げます。

ご出席

ご欠席

貴社名 /		
貴媒体名 /		
部署名 /		(役職名)
ご芳名 /		
ご連絡先 TEL /		FAX /
Email /		
ご同行者 /		総人数 名
内容 / ※該当する項目にチェックをお願いします。		
<input type="checkbox"/> ペン <input type="checkbox"/> スチール <input type="checkbox"/> ムービー		
取材予定内容 / ※該当する項目にチェックをお願いします。		
<input type="checkbox"/> オープニングパネルディスカッション <input type="checkbox"/> ローカル・イノベーション戦略会議 <input type="checkbox"/> 両方		
個別取材 / ※該当する項目にチェックをお願いします。		
<input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない		
取材希望者 / _____		※ご希望がある場合お名前をご明記ください。
備考 / ※個別取材等、ご要望などございましたらご記入下さい。		

【個人情報の扱いについて】当返信シートにて頂きました個人情報に関しては、当フォーラム運営および今後の広報活動における情報発信の目的にのみ使用し、適正に管理いたします。

お問い合わせ > 「ローカル・イノベーターズ・フォーラム 2016」 広報事務局  
株式会社コミュニケーションデザイン 担当: 落合、玉木  
TEL 03-5545-1661 FAX 03-5545-1662 E-mail ochiai@cd-j.net